

3 2 中部国際空港二本目滑走路の早期整備について

(国土交通省)

【内容】

- (1) 日本の成長戦略に不可欠な中部国際空港の完全24時間化実現に向け、二本目滑走路の早期整備に必要な調査を行うこと。
- (2) 地域を挙げて取り組んでいる航空需要拡大に対し、国も全面的に支援すること。
- (3) 空港利用者の利便性向上のため、アクセスの充実に取り組むこと。

(背景)

- 中部国際空港は、開港以来、成田国際空港、関西国際空港と並ぶ国際拠点空港として、我が国の航空輸送の発展に大きく貢献している。
- 我が国が、現在の厳しい経済状況を脱し、今後、更なる成長を目指していくためには、日本の成長エンジンである中部地域が、発展著しいアジアと一体となって活力を取り戻し、再び我が国経済を牽引していかなければならない。
- このため、地域のグローバルな交流を支える中部国際空港に、二本目滑走路を早期整備し、完全24時間化を実現する必要がある。
- 併せて、地域と国内外とを直結する航空ネットワークの維持・充実も不可欠であることから、地域関係者が一丸となって需要拡大に取り組んでいるところである。
- また、空港利用者の利便性向上に向けて、更なるアクセスの充実が必要である。

(参 考)

【中部国際空港】



(平成 21 年 10 月撮影)

【地域の主な取組状況】

中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会	<ul style="list-style-type: none">・平成 20 年 4 月 30 日 設立 (会長：愛知県知事)・地元 (愛知・岐阜・三重・名古屋) の自治体・経済関係の 43 団体の長で構成。・政府等関係機関への要望活動を実施。
愛知県	欧米・アジア等でエアポートセールスを実施
	中部国際空港を利用する国際物流促進に関する調査を実施
中部国際空港利用促進協議会	観光PRセミナーを開催するなど、インバウンド需要の拡大
	輸入促進キャンペーンの実施 (荷主・フォワーダーへの支援策)
	新規就航促進事業の実施 (平成 21 年度の新規就航：中国東方航空 (南京便)、エティハド航空 (アブダビ便)、済州航空 (ソウル便))